

SDGs インターンシップ『環境×インドネシア』を終えて

経営学部 3年 堀口竜聖

私は、今までの学生生活を振り返るとコロナの影響もあり、満足の行く学生生活が送れていなかったことから、新たなことに挑戦しようと思っていました。今回のインターンシップでは、大学の講義で興味を持っていたSDGsであるということや、他大学生との関わり、インドネシア学生との関わりの中で、大きな成果を得られ、自分自身の成長や新たな気づきに繋がるのではないだろうかと考え、参加を決意しました。

インドネシアでの海洋プラスチックごみの問題をはじめ、様々な社会問題への取り組みへの多様性を学び、廃棄素材をアップサイクルするという方法を経験することができました。また、商品企画を経験したことから、作りたいものを廃棄素材や天然素材から作るのではなく、実現性や社会インパクト、必要性、競合他社との差別化など、商を作る上でどのように配慮すべきなのかを具体的に学び、最終発表に向けてはメンバーと協力をし、アイデアを出し合い、ベストを尽くすことができました。



社会問題とエコバックの需要

このインターンシップを通して、SDGs、マーケティング、プレゼン資料作成、フィードバックの重要性、異文化交流など、たくさんの学びを吸収できたと同時に、今後の自分自身への課題も見つかりました。このような機会があれば、更に英語の勉強をし、たくさんコミュニケーションがとれるよう、レベルアップした状態で参加をしたいです。



エコバックとバックホルダー